

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 108	提案機関名 財団法人相模湾水産振興事業団
要望問題名 相模湾の藻場・漁場調査について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 平成21年に腰越地先の天然ワカメ不漁の件で、地元漁協が原因の調査を県水産技術センター相模湾試験場に依頼し、同試験場がROV(水中カメラロボット)による調査を実施し、海中の様子を詳しく観察することが出来、漁業者の助けになった。 また、近年、海底のシルト化や藻場の荒廃等が進み、漁業生産力の低下が懸念されている。 このようなことから、自分たちの漁場の状況を把握したいという漁業者からの要望が強く、今後も引き続き、同試験場のROV等による調査の実施を要望します。	
解決希望年限	1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 4～5年以内 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	農業技術センター 畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> 水産技術センター 自然環境保全センター
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	相模湾試験場
対応区分	実施 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 継続検討 実施済 調査指導対応 現地対応 実施不可		
試験研究課題名 (、 、 の場合)	漁場環境保全調査		
対応の内容等	相模湾内の藻場や底質の調査については、現在「漁場環境保全調査」の中で行っている。 当該要望については、前記事業の中で適宜、対応してきた。 今後も要望があれば、可能な範囲で対応することとしたい。		
解決予定年限	1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 4～5年以内 5～10年以内		
備考			